

情報連絡員総括表（平成 31 年 4 月）

－ 静岡県中小企業団体中央会 －

本書は、静岡県中小企業団体中央会が委嘱した情報連絡員〔協同組合等の役職員 60 名〕による毎月の景況調査の集計結果です。

1. 概況報告
2. 項目別の景気動向
 - 1) 業界の経営動向
 - 2) 主要三指標における DI 値の推移（グラフ）

◎売上高等の 9 項目につき 前年同月と比較し、好転・不変・悪化 のいずれかを回答

$$DI \text{ 値} = [(\text{好転組合数} - \text{悪化組合数}) / \text{調査対象組合数}] \times 100$$

※全項目が前年同月比「不変」となった場合は、DI 値は基準値 ± 0.0 (=横ばい) で推移

※「在庫数量」のみ、プラス値が高いほどマイナス要因と定義

1. 概況報告 （回答者数 60 名：回収率 100%）

- 平成 31 年 4 月の DI 値は、「設備操業度」を除く 8 指標が基準値 (± 0.0) を下回った。
主要 3 指標（「売上高」「収益状況」「業界の景況」）は、前月との比較において「売上高」は悪化、「収益状況」は改善、「業界の景況」は横ばいとなった。
- 「製造業」では、前月との比較において全 9 指標中「売上高」「在庫数量」「資金繰り」を除く 6 指標が改善する結果となった。
- 「非製造業」では、前月との比較において全 8 指標中「在庫数量」「取引条件」「雇用人員」「業界の景況」を除く 4 指標が改善する結果となった。

	売上高	在庫数量	販売価格	取引条件	収益状況	資金繰り	設備操業度	雇用人員	業界の景況
H31.4	-3.3	4.6	-3.3	-8.3	-10.0	-6.6	16.7	-6.6	-20.0
H31.3	0.0	-2.3	-6.7	-8.3	-16.7	-8.3	0.0	-13.3	-20.0
差	-3.3	6.9	3.4	0.0	6.7	1.7	16.7	6.7	0.0

◎今月の業界状況を DI 値で見ると、

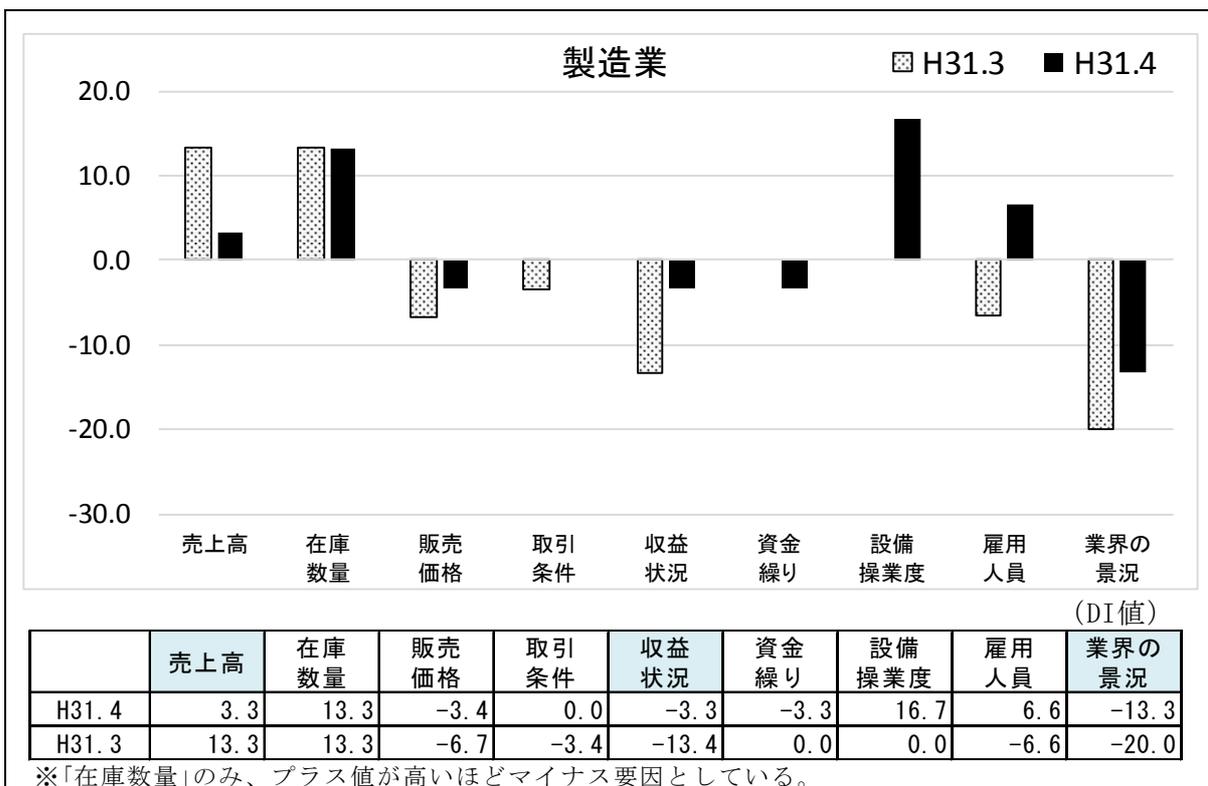
主要 3 指標の DI 値は、売上高 -3.3、収益状況 -10.0、業界の景況 -20.0 となった。

前月との比較においては、「売上高」が 3.3 ポイント悪化、「収益状況」が 6.7 ポイント改善し、「業界の景況」は同値となった。

全体的には、「収益状況」を含む 5 指標が前月から改善し、「売上高」と「在庫数量」の 2 指標は悪化した。

◎前月・今月の前年同月比DI 値を比較すると、(製造業・非製造業別)

【製造業】



【製造業】では、

主要3指標のDI値は、売上高 3.3、収益状況 -3.3、業界の景況 -13.3 となった。

前月との比較においては、「収益状況」「業界の景況」を含む6指標が改善、「在庫数量」が横ばい、「売上高」と「資金繰り」の2指標が悪化する結果となった。

6指標の改善した要因としては、主に木材・木製品、鉄鋼・金属工業、一般機器の好転件数の増加が挙げられる。

◎自由回答より

(水産食品製造業)

- ・副資材(塩、包装資材等)、原材料等の値上がりが相次ぎ、経費増加による厳しい経営を強いられている。

(製茶業)

- ・在庫は少し多いが、3月の冷え込みにより新茶の生育が遅れ、仕入れが増えていない状況。

(織物業)

- ・廃業する機屋があり、生産数量が前月比5~6%減少している。

(木材・木製品製造業)

- ・昨年は従業員数も多く、また新たにリングバーガー(樹皮を剥く機械)が稼働し出した為、高値の原料を大量に仕入れた結果、売上高は過去最高だったが、利幅が小さかった。今年は従

業員数が減っている為、値段の高過ぎる材料の仕入れを控えている。採算はよくなっているものの、設備操業度は落ちている。

(印刷業)

- ・再生紙の入手困難が景況に影響している。売り上げ増加は大型連休による前倒し受給によるもの。洋紙の値上げ分が売上高に一時的に好影響を与えている。材料・資材等全てが値上がりしている中、販売価格に転嫁できない状況。

(金属製品製造業)

- ・原材料価格が高騰している為、収益率が悪化している。

(生産用機械器具製造業)

- ・米中貿易摩擦の影響で仕事量が減少し、生産計画を修正している。
- ・建設工事関係が一時的に多かった。
- ・主要親会社の仕事量が低迷している。
- ・業種で仕事量がまだらであり、また変動も激しい。
- ・大型ライン設備の受注が増えており、仕掛期間の長期化、組み立てスペースの狭隘化が見られる。

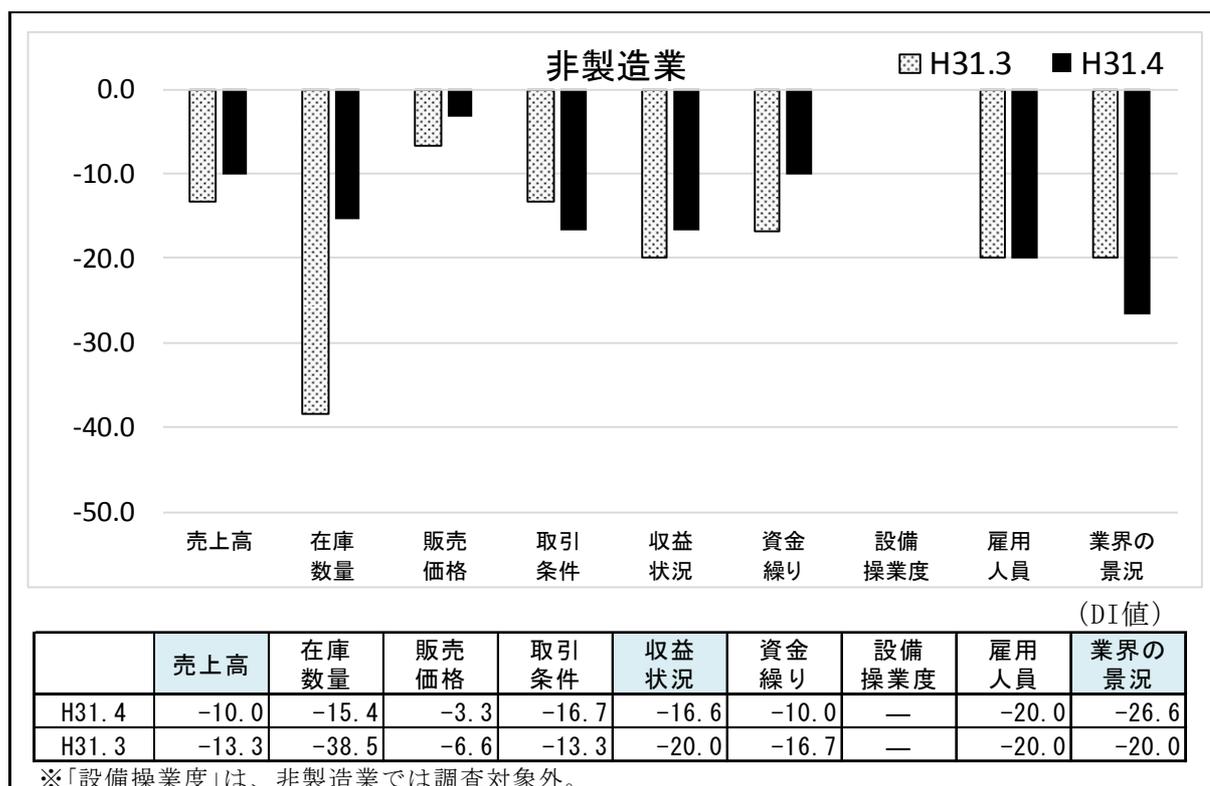
(電気機械器具製造業)

- ・冷蔵庫・エアコンともに昨年を上回る生産となっている為、関係する組合員は繁忙状態が続いている。

(輸送用機械器具製造業)

- ・今のところ生産量に大きな変化は無いが、先行きの不透明感が強くなっている。
- ・組合員のほとんどが中小下請企業の為、ゴールデンウィークは稼働日の確保により、10連休とならない企業が多かった。

【非製造業】



非製造業では、

主要3指標のDI値は、売上高 -10.0、収益状況 -16.6、業界の景況 -26.6となった。前月との比較においては、「売上高」「収益状況」を含む4指標が改善、「雇用人員」が横ばい、「在庫数量」「取引条件」「業界の景況」の3指標が悪化する結果となった。

◎自由回答より

(セメント卸売業)

- ・出荷量は、低調であるがなんとか2ヶ月連続前年同月実績を上回ることができた。

(各種商品卸売業)

- ・日用雑貨企業が1社廃業した。

(機械器具小売業)

- ・白物家電商品は売上を維持している。テレビ市場においては、現行のテレビ(2K)も解像度が良く、4K・8Kテレビを必要とする人が少なく感じる。オリンピック開催間近に動くことを期待する。

(燃料小売業)

- ・アメリカによるイラン産原油を標的にした経済制裁の影響から、原油価格の高止まりは今後も続くと思われ、消費税増税とあわせ人手不足とともに今後の大きな不安要素となっている。

(商店街)

- ・天候不順の為、ゴールデンウィークは例年より人通りが少なかった。平成最後の日も人通りは少なく、令和に期待する。
- ・空き店舗が3店ありテナント誘致が課題となっている。「令和・新天皇陛下御即位」を祝し、国旗を掲げ横断幕を設置した。
- ・今年は、大型連休により例年より帰省客・観光客が多く感じられた。

(宿泊業)

- ・4月は統一地方選挙や10連休を控えて、やや旅行客の動きが鈍かった。4月末の4連休で多少持ち直したが、全体的には前年より多少落ち込んでいる。10連休の宿泊はかなり期待できるものの、その後の宿泊予約が伸び悩みの状況。
- ・クレジットカード精算やキャッシュレスの動きにより、キャッシュフローが不安定となり仕入業者への支払等キャッシュ不足による遅れが懸念される。

(総合工事業)

- ・県内の建設業許可業種数は5年連続で減少している。業種別変動では、小幅の増加は塗装・内装仕上げ、タイル・れんが・ブロック、減少は建築一式、土木一式が減少、16年に新設された解体は大幅増と時代の移り変わりを現している。
- ・官庁工事は新年度発注が少ないが、民間の建築工事は新年度繰り越し工事が多く発注されている為、繁忙状態が続いている。

(識別工事業)

- ・鉄骨のボルトの品不足の影響で、受注後も着工できず停滞状態が続いている。夏以降には着工が見込まれるが、4～7月分の仕事量のしわ寄せが年度後半に大きくなる模様。受注不足や工期の遅れなどがあり、受注価格の下落が顕著になってきている。

(道路貨物運送業)

- ・4月上旬は昨年度並みで推移した。中旬から下旬は大型連休を控え荷動きが活発となったことと運転手不足が重なり、運賃が前年と比較し10～15%ほど上昇した。
- ・慢性的な車両不足や大型連休を見越し、トラックからJRコンテナへの切替が見られた。
- ・大型連休を控え積荷は増えているが、空車が無い状況。軽油価格も上昇を続けている。

2. 項目別の景気動向 (前年同月比DI値のH31.3~H31.4における推移)

<売上高>

DI値	製造業		非製造業		全体	
H31.4	3.3	10.0ポイント低下	-10.0	3.3ポイント上昇	-3.3	3.3ポイント低下
H31.3	13.3		-13.3		0.0	

売上高における全体のDI値は、前月より3.3ポイント低下し-3.3。

製造業 は、前月より10.0ポイント低下し3.3。「増加」した先は対象先30件の内7件で、木材・木製品が2件、食料品、窯業・土石製品、鉄鋼・金属工業、一般機器、電気機器が各1件。「減少」した先は6件で、繊維工業、木材・木製品が各2件、窯業・土石製品、一般機器が各1件であった。

非製造業 は、前月より3.3ポイント上昇し-10.0。「増加」した先は対象先30件の内5件で、運輸業が各2件、卸売業、商店街、サービス業が各1件。「減少」した先は8件で、小売業、商店街が各2件、卸売業、サービス業、建設業、運輸業が各1件であった。

<在庫数量>

DI値	製造業		非製造業		全体	
H31.4	13.3	0.0ポイント同値	-15.4	23.1ポイント悪化	4.6	6.9ポイント悪化
H31.3	13.3		-38.5		-2.3	

在庫数量における全体のDI値は、前月より6.9ポイント悪化し4.6。

製造業 は、前月と同値で13.3。「増加」した先は対象先30件の内7件で、食料品が3件、木材・木製品、窯業・土石製品、電気機器、輸送用機器が各1件。「減少」した先は3件で、木材・木製品が2件、繊維工業が1件であった。

非製造業 は、前月より23.1ポイント悪化し-15.4。「増加」した先は対象先30件の内商店街の1件。「減少」した先は3件で、小売業が2件、卸売業が1件であった。

<販売価格>

DI 値	製造業		非製造業		全体	
H31.4	-3.4	3.3 ポイント上昇	-3.3	3.3 ポイント上昇	-3.3	3.4 ポイント上昇
H31.3	-6.7		-6.6		-6.7	

販売価格における全体のDI 値は、前月より 3.4 ポイント上昇し -3.3。

製造業 は、前月より 3.3 ポイント上昇し -3.4。「上昇」した先は対象先 30 件の窯業・土石製品の 1 件。「悪化」した先は木材・木製品の 2 件であった。

非製造業 は、前月より 3.3 ポイント上昇し -3.3。「上昇」した先は対象先 30 件の内 5 件で、小売業、運輸業が各 2 件、建設業が 1 件。「悪化」した先は 6 件で、サービス業が 2 件、卸売業、小売業、商店街、建設業が各 1 件であった。

<取引条件>

DI 値	製造業		非製造業		全体	
H31.4	0.0	3.4 ポイント上昇	-16.7	3.4 ポイント低下	-8.3	0.0 ポイント同値
H31.3	-3.4		-13.3		-8.3	

取引条件における全体のDI 値は、前月と同値の -8.3。

製造業 は、前月より 3.4 ポイント上昇し 0.0。「好転」した先は対象先 30 件の内鉄鋼・金属工業の 1 件。「悪化」した先は繊維工業の 1 件であった。

非製造業 は、前月より 3.4 ポイント低下し、-16.7。「好転」した先は無く、「悪化」した先は対象先 30 件の内 5 件で、小売業が 3 件、卸売業、運輸業が各 1 件であった。

<収益状況>

DI 値	製造業		非製造業		全体	
H31.4	-3.3	10.1 ポイント上昇	-16.6	3.4 ポイント上昇	-10.0	6.7 ポイント上昇
H31.3	-13.4		-20.0		-16.7	

収益状況における全体のDI 値は、前月より 6.7 ポイント上昇し -10.0。

製造業 は、前月より 10.1 ポイント上昇し -3.3。「好転」した先は対象先 30 件の内 6 件で、木材・木製品が 3 件、食料品、鉄鋼・金属工業、電気機器が各 1 件。「悪化」した先は 7 件で、繊維工業、窯業・土石製品が各 2 件、食料品、木材・木製品、鉄鋼・金属工業が各 1 件であった。

非製造業 は、前月より 3.4 ポイント上昇し -16.6。「好転」した先は対象先 30 件の内 2 件で、商店街、サービス業が各 1 件。「悪化」した先は 7 件で、小売業が 3 件、卸売業、サービス業、建設業、運輸業が各 1 件であった。

<資金繰り>

DI 値	製造業		非製造業		全体	
H31.4	-3.3	3.3 ポイント低下	-10.0	6.7 ポイント上昇	-6.6	1.7 ポイント上昇
H31.3	0.0		-16.7		-8.3	

資金繰りにおける全体のDI 値は、前月より 1.7 ポイント上昇し -6.6。

製造業 は、前月より 3.3 ポイント低下し -3.3。「好転」した先は対象先 30 件の内 3 件で、食料品、電気機器、輸送用機器が各 1 件。「悪化」した先は 4 件で、食料品、繊維工業、木材・木製品、窯業・土石製品が各 1 件であった。

非製造業 は、前月より 6.7 ポイント上昇し -10.0。「好転」した先は対象先 30 件の内建設業の 1 件。「悪化」した先は 4 件で、小売業が 2 件、卸売業、商店街が各 1 件であった。

<設備操業度> ※製造業のみ

DI 値	製造業		非製造業		全体	
H31.4	16.7	16.7 ポイント上昇			16.7	16.7 ポイント上昇
H31.3	0.0				0.0	

設備操業度におけるDI 値は、前月より 16.7 ポイント上昇し 16.7。

「上昇」した先は対象先 30 件の内 8 件で、木材・木製品が 2 件、食料品、繊維工業、鉄鋼・金属工業、一般機器、電気機器、輸送用機器が各 1 件。「悪化」した先は 3 件で、繊維工業、木材・木製品、一般機器が各 1 件であった。

<雇用人員>

DI 値	製造業		非製造業		全体	
H31.4	6.6	13.2 ポイント上昇	-20.0	0.0 ポイント同値	-6.6	6.7 ポイント上昇
H31.3	-6.6		-20.0		-13.3	

雇用人員における全体のDI 値は、前月より 6.7 ポイント上昇し -6.6。

製造業 は、前月より 13.2 ポイント上昇し 6.6。「増加」した先は対象先 30 件の内 7 件で、木材・木製品が 2 件、食料品、繊維工業、一般機器、電気機器、輸送用機器が各 1 件。「減少」した先は 5 件で、食料品、繊維工業、木材・木製品、窯業・土石製品、一般機器が各 1 件であった。

非製造業 は、前月と同値の -20.0。「増加」した先は無く、「減少」した先は対象先 30 件の内 6 件で、小売業、運輸業が各 2 件、卸売業、商店街が各 1 件であった。

<業界の景況>

DI 値	製造業		非製造業		全体	
H31.4	-13.3	6.7 ポイント上昇	-26.6	6.6 ポイント低下	-20.0	0.0 ポイント同値
H31.3	-20.0		-20.0		-20.0	

業界の景況における全体のDI 値は、前月と同値の -20.0。

製造業 は、前月より 6.7 ポイント上昇し -13.3。「好転」した先は対象先 30 件の内 3 件で、食料品、電気機器、輸送用機器が各 1 件。「悪化」した先は 7 件で、繊維工業、木材・木製品が各 2 件、食料品、印刷業、窯業・土石製品が各 1 件であった。

非製造業 は、前月より 6.6 ポイント低下し -26.6。「好転」した先は対象先 30 件の内 2 件で、サービス業、建設業が各 1 件。「悪化」した先は 10 件で、小売業が 4 件、卸売業、商店街が各 2 件、建設業、運輸業が各 1 件であった。

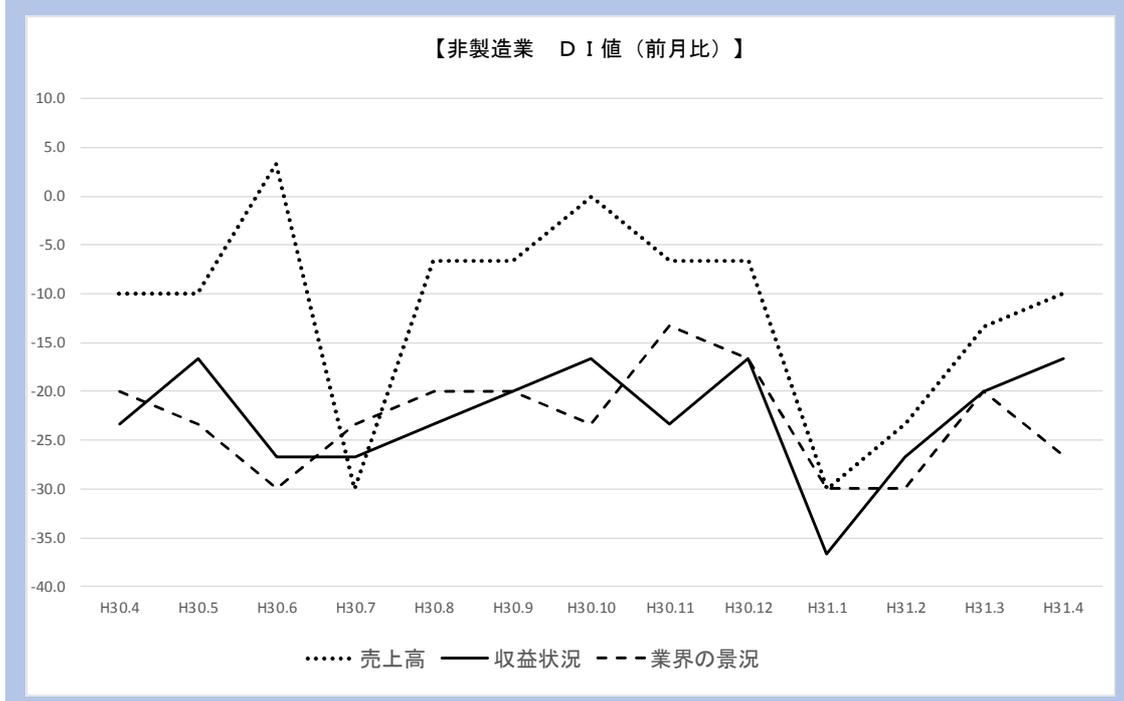
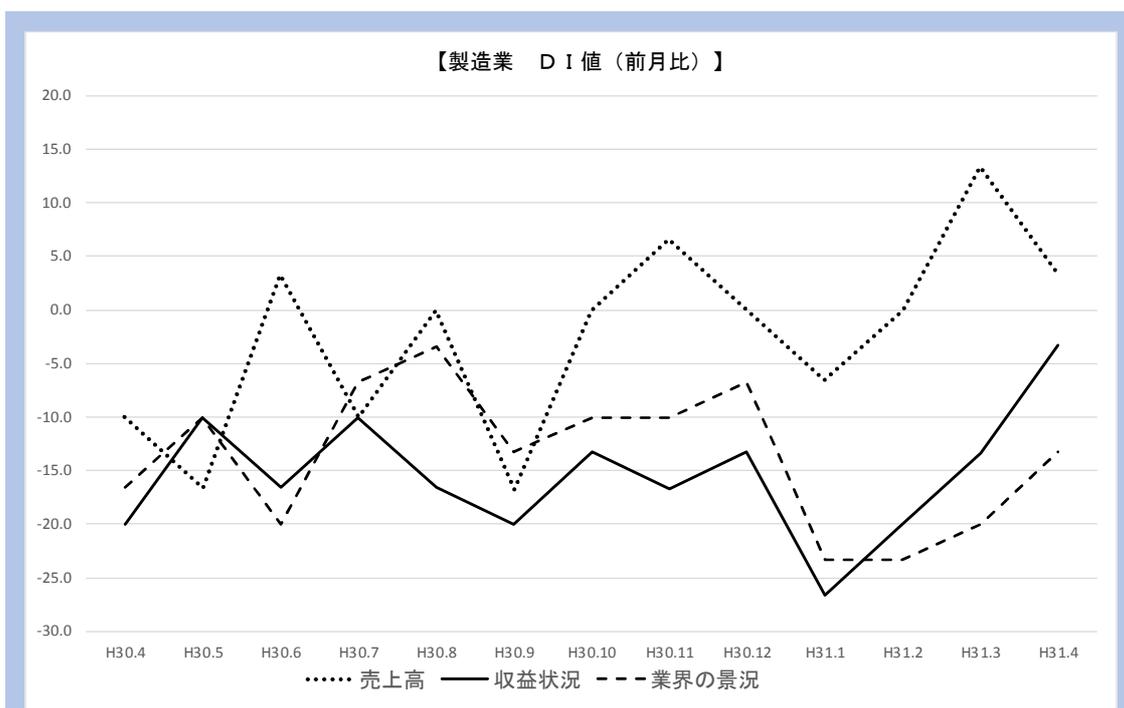
以上

■平成30年4月期～平成31年4月期までの推移

全体	H30.4	H30.5	H30.6	H30.7	H30.8	H30.9	H30.10	H30.11	H30.12	H31.1	H31.2	H31.3	H31.4
売上高	-10.0	-13.3	3.4	-20.0	-3.3	-11.7	0.0	0.0	-3.3	-18.4	-11.6	0.0	-3.3
収益状況	-21.7	-13.4	-21.7	-18.4	-20.0	-20.0	-15.0	-20.0	-15.0	-31.7	-23.4	-16.7	-10.0
業界の景況	-18.4	16.6	-25.0	-15.0	-11.7	-16.7	-16.7	-11.7	-11.7	-26.7	-26.7	-20.0	-20.0

製造業	H30.4	H30.5	H30.6	H30.7	H30.8	H30.9	H30.10	H30.11	H30.12	H31.1	H31.2	H31.3	H31.4
売上高	-10.0	-16.6	3.3	-10.0	0.0	-16.7	0.0	6.6	0.0	-6.6	0.0	13.3	3.3
収益状況	-20.0	-10.0	-16.6	-10.0	-16.6	-20.0	-13.3	-16.7	-13.3	-26.7	-20.0	-13.4	-3.3
業界の景況	-16.6	-10.0	-20.0	-6.7	-3.4	-13.3	-10.0	-10.0	-6.7	-23.3	-23.3	-20.0	-13.3

非製造業	H30.4	H30.5	H30.6	H30.7	H30.8	H30.9	H30.10	H30.11	H30.12	H31.1	H31.2	H31.3	H31.4
売上高	-10.0	-10.0	3.3	-30.0	-6.7	-6.7	0.0	-6.7	-6.7	-30.0	-23.3	-13.3	-10.0
収益状況	-23.3	-16.6	-26.7	-26.7	-23.3	-20.0	-16.7	-23.3	-16.7	-36.6	-26.7	-20.0	-16.6
業界の景況	-20.0	-23.4	-30.0	-23.3	-20.0	-20.0	-23.3	-13.3	-16.7	-30.0	-30.0	-20.0	-26.6



■平成30年4月期～平成31年4月期までの推移

売上高	H30.4	H30.5	H30.6	H30.7	H30.8	H30.9	H30.10	H30.11	H30.12	H31.1	H31.2	H31.3	H31.4
製造業	-10.0	-16.6	3.3	-10.0	0.0	-16.7	0.0	6.6	0.0	-6.6	0.0	13.3	3.3
非製造業	-10.0	-10.0	3.3	-30.0	-6.7	-6.7	0.0	-6.7	-6.7	-30.0	-23.3	-13.3	-13.3

収益状況	H30.4	H30.5	H30.6	H30.7	H30.8	H30.9	H30.10	H30.11	H30.12	H31.1	H31.2	H31.3	H31.4
製造業	-20.0	-10.0	-16.6	-10.0	-16.6	-20.0	-13.3	-16.7	-13.3	-26.7	-20.0	-13.4	-3.3
非製造業	-23.3	-16.6	-26.7	-26.7	-23.3	-20.0	-16.7	-23.3	-16.7	-36.6	-26.7	-20.0	-16.4

業界の景況	H30.4	H30.5	H30.6	H30.7	H30.8	H30.9	H30.10	H30.11	H30.12	H31.1	H31.2	H31.3	H31.4
製造業	-16.6	-10.0	-20.0	-6.7	-3.4	-13.3	-10.0	-10.0	-6.7	-23.3	-23.3	-20.0	-13.3
非製造業	-20.0	-23.4	-30.0	-23.3	-20.0	-20.0	-23.3	-13.3	-16.7	-30.0	-30.0	-20.0	-26.6

